

高分子分析研究懇談会の活動記録 (2001-2010)

2011年3月9日

社団法人 日本分析化学会
高分子分析研究懇談会

目次

巻頭言 「高分子分析研究懇談会発足 50 周年を迎えて」 運営委員長 大関 博

高分子分析研究懇談会の活動記録 (2001-2010)

A	例会	1
B	日本分析化学会における講演会	14
C	高分子分析討論会	15
D	講習会	18
E	出版	23
F	会員リスト (現会員 および 歴代会員)	24
G	幹事、運営委員 および 学会事務局	31

50周年記念誌 編集後記

50周年記念行事担当 大谷 肇

高分子分析研究懇談会発足 50 周年を迎えて

高分子分析研究懇談会 運営委員長

大関 博 (旭化成 (株))

日本分析化学会高分子分析研究懇談会が発足後 50 周年の節目を迎えました。改めまして本懇談会をリードされてこられました歴代の運営委員長、運営委員の先生方のご尽力、ならびに会員皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。同時に、これまでご支援、ご協力をいただきました日本分析化学会の役員の先生方および事務局の皆様にも、心より感謝申し上げます。

現在の懇談会の活動は、年 5 回の例会、高分子分析討論会、技術講習会（前期、後期）、を主なものとし、例会は 356 回を重ねるに至りました。この間、「高分子の機器分析シリーズ」、「高分子分析ハンドブック」を刊行致しました。「高分子分析ハンドブック」は、初版から改訂すること 4 回(最新版は 2008 年)、高分子分析に関わっている多くの人達のバイブルとなっています。また、今から 15 年前に始まった高分子分析討論会も、活発な研究成果の発信の場、議論の場として、回を重ねるごとに発表件数や参加者の数も増えてきました。嬉しいことです。

さて節目を迎えた今年度は、50 周年記念事業として、大谷副運営委員長（名工大）を実行委員長に、国際会議（兼第 15 回高分子分析討論会）、50 周年記念講演会、記念祝賀会を行いました。さらに記念誌の発行、高分子分析に関する「分析化学」特集号の編集も進んでおります。50 年という歴史の重みを強く感じております。

これから、次の半世紀に向けての第一歩を踏み出すわけですが、本懇談会が高分子分析の分野で、その存在を示し、益々の貢献を果たして行くためにも、この懇談会の活動を国内外に広く発信する必要があると感じています。計画が進んでいる「高分子分析ハンドブック」の英語版の出版、高分子分析に関する JIS 用語集や高分子分析士の検討などが課題として上げられます。また、例会、討論会の益々の充実、若い人の育成に貢献している技術講習会も継続していく必要があります。本懇談会の特徴に、企業の会員が多い一方、官、学の会員が少ない傾向があります。必然的な流れか、ここ 10 年位は、企業の会員が直接運営に関わるケースも出てきましたが、懇談会の益々の発展を考えた場合、産官学の連携は必須であり、産官学の適切な会員構成を維持していく必要があると感じています。

今後、本懇談会の益々の発展に向けて、広報活動の充実、会員相互の活発な交流はもちろんの事、特に若い会員の増加による活躍を期待したいと思います。

2011 年 3 月

A 例会

例会では会員および外部講師による講演を主体とし、合宿においては自由討論による意見交換等の活動も行ってきた。各例会の期日、場所およびプログラムを以下に掲載する。

なお、内容を便宜的に次の3グループに分類し、記号で区別してある。

◆：一般講演

◇：ワークショップ

◎：その他

第307 回例会

2001年1月31日 北とびあ

- ◆「高分子材料のリサイクルと将来」 (芝浦工大) 武田邦彦第五回高分子分析討論会から
- ◆「表面増強赤外分光法を利用したLC/IRの感度向上の検討」 (豊田中研) 須藤栄一
- ◆「総合プロセス解析技術の開発ウレタン系接着剤の硬化反応と動的物性解析」 (大日本印刷) 坂田 玲子
- ◆「酸化チタン／ポリジメチルシロキサンハイブリッド微粒子の合成とキャラクタリゼーション」 (コーセー) 中出 正人
- ◆「均一オリゴマーを用いたMALDI-TOFMSによる分子量分布測定の定量性の評価」 (物質研) 島田 かより

第308 回例会

2001年5月30日 ゆうほうと

◎平成13年度総会

- ◆「NMRイメージングの測定法と材料分野への応用」 (日本電子) 江口 恵二
 - ◆「高分子の結晶化のメカニズム」 (広島大総合科学部) 彦坂 正道
 - ◆「高分子の液体クロマトグラフィー：LC-CAPと吸着クロマト」 (東京農工大) 佐藤 壽彌
- ◎交流会

第309 回例会 (夏期合宿)

2001年7月6・7日 秋保温泉ホテルクレセント

【セッション1：講演】

- ◆「熱・赤外分光同時測定 (DSC-FTIR) による高分子の秩序化解析」 (東京都立大学) 吉田 博久
- ◆「TOF-SIMSによる工業材料表面の有機分析」 (豊田中研) 村瀬 篤
- ◆「固体NMR法を用いた高分子複合系のキャラクタリゼーション」 (防衛大学) 浅野 敦志

【セッション2：分科会】

- ◎ A分科会：熱分析
- ◎ B分科会：表面分析
- ◎ C分科会：固体分析

【セッション3：講演】

- ◆「マトリックス支援レーザー脱離イオン化質量分析法によるバクテリアの識別分析」 (名古屋大学) 石田 康行

【セッション4：その他】

- ◎ 各分科会のまとめ報告

【セッション5：自由討論】

- ◎「高分子分析ハンドブックのここをこうしたい」 (アクトリサーチ) 高山 森

第310 回例会

2001 年10 月15 日 ゆうほうと

- ◆「X線回折法とそれから得られる情報の特徴」(岡山大理) 柏野 節夫
- ◇「テレフタル酸系共重合ポリエステルにおけるロングレンジシーケンス」(帝人構造解析研究所) 松田 裕生
- ◇「新規収束顕微鏡を用いたPEインフレーションフィルムの形態解析」(住友化学 石油化学品研究所) 内海 晋也
- ◆「高分子材料のLCAのためのリサイクル研究」(神奈川大理) 大石 不二夫

第311 回例会

2001 年12 月4 日 ゆうほうと

- ◆「ガスクロマトグラフィーによる樹脂の溶解性パラメータの推定」(関西ペイント) 坪内 健治郎
 - ◇「平面スライス法を前処理として用いる塗膜の劣化プロフィルの解析」(アクトリサーチ) 佃 由美子
 - ◇「²⁹Si-NMRを用いたアルキルアルコキシシランの重縮合の評価」(旭化成) 戸田 芳子
 - ◆「赤外分光法による共役高分子デバイスの研究」(早稲田大) 古川 行夫
- ◎懇談会

第312 回例会

2002 年1 月31 日 北とびあ

◎平成14 年度総会

- ◆「¹²⁹Xe NMR 法による高分子の微細構造解析」(名古屋工業大) 吉水 広明
- ◇「走査型プローブ顕微鏡(SPM)による紙薬品の分析」(荒川化学) 井口 文明
- ◇「SECにおけるハイフェネーテッドテクニック」(出光石油化学) 宝崎 達也
- ◆「ポリプロピレン系ポリエーテルポリオール末端基の解析」(旭硝子) 米森 重明

第313 回例会

2002 年5 月17 日 ゆうほうと

- ◆「SPMによる有機・高分子材料の熱的評価：マイクロサーマルアナライザーなどの最近の進歩」(東レリサーチセンター) 中川 善嗣
- ◇「簡易サンプリングツールによる高分子材料の前処理とそのスペクトル」(エス・ティ・ジャパン) 時田 健一
- ◇「磁場勾配NMR法のゲル構造解析への応用」(花王・構造解析センター) 川口 高広
- ◆「NMRイメージングの材料解析への応用」(新日鐵先端研) 齋藤 公児

第314 回例会(夏期合宿)

2002 年7 月5・6 日 熱海ニューフジヤホテル

【セッション1: 講演】

- ◆「MALDI-MSによる合成高分子分析の構造解析」(産業技術総合研究所) 佐藤 浩昭
- ◆「走査型プローブ顕微鏡による高分子材料の形態観察と評価」(東レリサーチ) 中川 善嗣
- ◆「近赤外分光-ケモメトリックス法による新しい高分子分光分析」(関西学院大) 尾崎 幸洋

【セッション2: 分科会】

- ◎A 分科会: MS
- ◎B 分科会: AFM
- ◎C 分科会: 近赤外分光-ケモメトリックス法
- ◎自由懇談

【セッション3：講演】

- ◆「地球環境悪化が引き起こすポリマーへの影響」（化学物質評価研究機構）大武 義人

【セッション4：その他】

- ◎ 各分科会のまとめ報告

【セッション5：自由討論】

- ◎「高分子分析ハンドブックの改訂について」（アクトリサーチ）高山 森

第315 回例会

2002 年10月8日 北とびあ

- ◆「住環境と分析化学：木材からの揮発性有機化合物の分析を中心に」（神奈川大）西本 右子
- ◇「シックハウス関連部材の放散試験」（カネカテクノリサーチ）佐藤 勝二
- ◆「SPring-8 放射光によるX線分析の新展開」（東京理科大学）中井 泉
- ◆「ポストメタロセン触媒系の開発／触媒・助触媒」（三井化学 触媒科学研究所）藤田 照典

第316 回例会

2002 年12月4日 ゆうほうと

- ◆「PC の分岐・架橋構造に関するキャラクタリゼーション」（名古屋大学 大学院）大谷 肇
- ◇「SEC-MALS を用いたポリビニルアルコール水溶液の会合挙動解析」（クラレ 構造解析センター）庄 清彦
- ◇「エネルギーフィルターTEM による高分子ナノ局所構造解析」（産業技術総合研究所 高分子基盤技術研究センター）堀内 伸
- ◆「情報部材のインターフェース機能の発展と動的解析」（技術開発センター 物性分析研究所）黒田孝二
- ◎ 懇談会

第317 回例会

2003 年2月4日 工学院大学

- ◆「高分子の形態観察における最近の進歩」（シーエーシーズ）佐野 博成
- ◇「フッ素系高分子材料の分子量分布および組成分布の解析」（旭硝子）伊勢村 次秀
- ◇「口紅とオーバーコートの界面における挙動の解析」（コーセー）吉越 由美子
- ◆「複合天然材料—木材—のキャラクタリゼーションとその産業的利用」（九州大学）小名 俊博

第318 回例会

2003 年5月8日 ゆうほうと

◎ 平成15年度総会

- ◆「収束光顕微鏡の開発とその応用」（住友化学工業）美濃部 正夫
- ◇「MALS-QELS による、高分子微粒子のキャラクタリゼーション」（昭光通商）中村 雅英
- ◇「超高温水を利用したクロマトグラフィーの開発と高分子分析への応用」（産業技術総合研究所 計測標準研究部門）鎗田 孝
- ◆「モノマー配列規則性の解析」（日立化成 総合研究所）平井 修
- ◎ 懇談会

第319 回例会（夏期合宿）

2003 年7月4・5日 ラフォーレ琵琶湖

【セッション1：講演】

- ◆「ポリウレタンのマイクロ相分離構造を探る」（長崎大学）古川 睦久
- ◆「高分子のHPLC—LC-CAP とTGIC—」（工学院大）寺町 信哉

◆「近接場分光分析の現状と可能性」(日本分光) 成田 貴人

【セッション2:分科会】

- ◎ A 分科会:分離分析
- ◎ B 分科会:ウレタン
- ◎ C 分科会:近接場赤外ラマン
- ◎ 自由懇談

【セッション3:講演】

- ◆「漆の耐光性と文化財」(金沢工業大学) 小川 俊夫
- ◆「微量分析としての裁判化学」(愛知県警科捜研) 肥田 宗政

【セッション4:その他】

- ◎ 各分科会のまとめ報告

第320 回例会

2003 年10月2日 ゆうほうと

- ◆「界面活性剤の分析」(花王 構造解析センター) 小池 亮
- ◇「薄層クロマトグラフ法を応用したフライ油の劣化度測定法」(住友スリーエム) 畑中 秀之
- ◇「発泡体のVOC 評価について」(積水化成成品工業) 尾崎 益教
- ◆「IR マッピング用ATR の開発と応用」(豊田中央研究所) 江崎 泰雄

第321 回例会(忘年会)

2003 年12月10日 ゆうほうと

- ◆「赤外/近赤外法による高分子中の水の状態分析」(KRI) 岩本 令吉
- ◇「固体NMR 等を用いた材料研究」(帝人 構造解析研究所) 永阪 文惣
- ◇「溶媒密封-高周波加熱による樹脂中の添加剤の概略定量法」(大日本インキ化学分析センター) 栗原 建二
- ◆「ポリプロピレン材料中に含まれる高分子量 HALS の直接分析法の開発と応用」(名古屋大学 大学院工学研究科) 大谷 肇
- ◎ 懇談会

第322 回例会

2004 年2月3日 ゆうほうと

- ◆「超臨界流体クロマトグラフィーにおける周辺技術の開発」(豊橋技術科学大学 物質工学系) 平田 幸夫
- ◇「温度勾配相互作用クロマトグラフィーによるポリマーの分離」(工学院大学) 松元 洋
- ◇「超臨界メタノール分解を利用する紫外線硬化樹脂のネットワーク構造解析」(名古屋大学) 石田 康行
- ◆「天然樹脂のキャラクタリゼーションと歴史的工芸品の塗膜同定」(日本電子データム) 新村 典康

第323 回例会

2004 年5月12日 ゆうほうと

- ◎ 平成16 年度総会
- ◆「ポリマー/シリカハイブリッド材料」(荒川科学工業) 合田 秀樹
- ◆「三次元電子顕微鏡による高分子ナノ構造解析」(京都工芸繊維大学) 陣内 浩司
- ◇「SB ブロックポリマーのキャラクタリゼーション」(電気化学工業) 神田 誠
- ◇「ヘッドスペースサンプラーを用いた GC/MS による臭気分析事例」(東京インキ) 佐藤 美穂
- ◎ 懇談会

第324 回例会（夏期合宿）

2004 年7月9・10日 倉敷国際ホテル

【セッション1：講演】

- ◆「テレフタル酸系重縮合高分子のNMRによるモノマー連鎖分布解析」（帝人）松田 裕生
- ◆「X線光電子分光法による高分子表面・界面の官能基解析」（東レリサーチセンター）中山 陽一
- ◆「マルチチャンネル赤外顕微鏡の開発とその応用」（日本分光）赤尾 賢一

【セッション2：分科会】

- ◎ A 分科会：核磁気共鳴法（NMR）
- ◎ B 分科会：X線光電子分光法（ESCA, XPS）
- ◎ C 分科会：赤外分光法（IR）
- ◎ 自由懇談

【セッション3：講演】

- ◆「FFF-MALSの可能性と問題点」（山形大学）川口 正剛
- ◆「高分子データベース PoLyInfoの現状と今後の課題」（物質・材料研究機構）飯室 茂
- ◆「有機化合物のスペクトルデータベース（SDBS）」（産業技術総合研究所）衣笠 晋一

【セッション4：その他】

- ◎ 各分科会のまとめ報告

第325 回例会

2004 年10月13日 ゆうほうと

- ◆「コーティング材料の機能解析のための塗膜分析」（日本ペイント）東野 由紀子
- ◇「関税中央分析所における分析業務および研究について」（財務省関税中央分析所）倉嶋 直樹
- ◇「アウトガス + Purge & Trap + GC/MSの装置概略と分析例」（日本分析工業）土屋 俊雄
- ◆「高分子の溶解度パラメータ（SP値）の基礎と応用」（関西大学工学部化学工学科）山本 秀樹

第326 回例会

2005 年1月13日 ゆうほうと

- ◆「マイクロからナノメートル領域にわたる高分子の分析事例」（日産アーク）加藤 淳
- ◇「スニッピングGC法を用いた臭気成分の分析」（東ソー分析センター）香川 信之
- ◇「ESI-MSを用いた食品中アクリルアミドに関する研究」（中部大学）堤内 要
- ◆「モノリス型シリカキャピラリーカラムの特性と応用」（京都工芸繊維大学）田中 信男
- ◎ 新年会

第327 回例会

2005 年5月12日 ゆうほうと

- ◎ 平成17年度総会
- ◆「コロイドプローブ原子間力顕微鏡法による表面力測」（花王 構造解析センター）小池 亮
- ◇「IR分析法によるフィルム薄コート層の分析」（東洋紡 総合研究所 分析センター）高橋 則子
- ◇「HPLCを用いたビスフェノールAの簡易高感度分析」（東芝ナノアナリシス）長田 文美
- ◆「環状高分子およびブロック共重合体のHPLCによる精密分析」（名古屋大学大学院工学研究科 化学・生物工学専攻）高野 敦志
- ◎ 懇談会

第328 回例会（夏期合宿）

2005 年7月8・9日 飯坂ホテル聚楽

【セッション1：講演】

- ◆「和周波発生(SFG)分光法による高分子表面・界面解析」（産業技術総合研究所 ナノテクノロジー研究部門）宮前 孝行
- ◆「有機・高分子薄膜の表面ナノ構造と局所物性評価」（九州大学 先導物質化学研究所）高原 淳
- ◆「植物バイオマスの分離・変換とその誘導体の高分子構造特性」（三重大学 生物資源学部・住友林業）三亀 啓吾

【セッション2：分科会】

- ◎ A 分科会：表面分析
- ◎ B 分科会：リサイクル
- ◎ 懇親会

【セッション3：講演】

- ◆「マイクロ・ナノ化学チップと次世代分析・合成・バイオシステム」（東京大学 大学院工学系研究科）北森 武彦
- ◆「自動車における環境負荷物質削減の取組み」（トヨタ自動車第二材料技術部）牧野 浩

【セッション4：その他】

- ◎ 各分科会のまとめ報告

第329 回例会

2005 年9月9日 ゆうほうと

- ◆「多角入射分解分光法：高分子薄膜解析への新たな取組み」（日本大学生産工学部・JST さきがけ）長谷川 健
- ◇「ブロックPPの構造解析と材料特性の関係」（豊田合成）渡辺 健市
- ◇「ピンポイント濃縮／顕微IR法による表面微量有機物の定性・定量分析」（東レリサーチセンター）佐藤 信之
- ◆「高分子・ゴムのレオロジーのキーポイント」（長岡技術科学大学）五十野 善信

第330 回例会

2005 年12月6日 ゆうほうと

- ◆「ラマン分光法を用いた迅速かつ非破壊的なポリマーのキャラクタリゼーション」（九州大学 大学院 農学研究院森林資源科学部門）小名 俊博
- ◇「Metal-Assisted SIMS (MetA-SIMS) 法の紹介と分析例」（豊田中央研究所 分析・計測部）井上 雅枝
- ◇「マイクロサンプリングによる工業製品中の微小異物分析」（日化テクノサービス 技術部）竹澤 健
- ◆「質量分析におけるイオン化の最先端技術」（関西大学工学部 応用化学科）荒川 隆一
- ◎ 忘年会

第331 回例会

2006 年2月2日 ゆうほうと

- ◆「DOSY-NMR による分子会合状態の解析」（旭化成 基盤技術研究所）堀池 則子
- ◇「製品および原材料中の石綿分析」（ニチアス 鶴見研究所）笠間 厚子
- ◇「全方位投影 TEMT によるポリマーナノコンポジットの三次元構造解析」（日東分析センター）川瀬 昇
- ◆「ナノとフォトンとバイオの未来：近接場光学とレーザー顕微鏡と分光光学の融合」（大阪大学 理化学研究所）河田 聡

第332 回例会

2006 年5月9日 ゆうほうと

◎ 平成 18 年度総会

- ◆ 「MALDI-MS を用いた合成高分子の構造解析」 (日立化成 先端材料研究所 分析センター) 海野 晶浩
 - ◇ 「樹脂中六価クロムの定量分析法の検討」 (フジクラ 材料評価センター) 市川 進矢
 - ◇ 「動的ヘッドスペース法によるアウトガスの分析」 (日本合成化学 中央研究所先端技術センター) 福田 自秀
 - ◆ 「ナノグラム量での測定を目指した固体NMRマイクロコイルプローブの開発」 (東京農工大 大学院 共生科学技術研究部) 山内 一夫
- ◎ 懇親会

第333 回例会 (夏期合宿)

2006 年7月7・8日 ViVi 熱海自然郷

【セッション1: 講演】

- ◆ 「「マトリックスフリー」のソフトレーザー脱離イオン化-質量分析法による 高分子および添加剤の分析」 (函館高専 物質工学科) 清野 晃之
- ◆ 「高分子の溶液 NMR の最近の話題 LC-NMR と DOSY を中心に」 (大阪大学 大学院基礎工学 研究科) 右手 浩一
- ◆ 「有機化合物の自動構造解析システムの現状 および ポリマーアロイ開発のためのケモメトリックス 手法」 (東京大学 工学系研究科) 船津 公人

【セッション2: 分科会】

- ◎ A 分科会: MS
- ◎ B 分科会: NMR
- ◎ C 分科会: 構造推定&ケモメトリックス
- ◎ 懇親会

【セッション3: 講演】

- ◆ 「磁場を用いた有機、高分子材料の配向、配列制御と、結晶構造解析への応用」 (首都大学 都市 環境学科) 木村 恒久
- ◆ 「超臨界~亜臨界流体を用いる プラスチックのリサイクル技術の研究開発動向」 (静岡大学 物質 工学科) 佐古 猛

【セッション4: その他】

- ◎ 各分科会のまとめ報告

第334 回例会

2006 年9月7日 ゆうほうと

- ◆ 「表面増強赤外分光で観る固液界面反応」 (北海道大学 触媒化学研究センター) 大澤 雅俊
- ◇ 「超臨界メタノール抽出法による高分子分析の試み」 (BASFコーティングス 塗料研究所) 鶴見 浩一郎
- ◇ 「熱分解 GC/MS と TOF-SIMS によるコア-シェル型 SBR ラテックスの構造解析手法の開発」 (富士写真フイルム 解析技術センター) 前川 敏彦
- ◆ 「光を使い分けてポリマーを分析する—遠紫外光からテラヘルツまで—」 (関西学院大学 理工学部 化学科) 尾崎 幸洋

第335 回例会

2006 年12月4日 ゆうほうと

- ◆「電子顕微鏡による高分子界面特性評価」(産業技術総合研究所 ナノテクノロジー研究部門)堀内 伸
- ◇「ゴムの架橋解析」(ブリヂストン 分析・材料基盤技術研究ユニット)北村 祐
- ◇「ポリマー分散液の安定性評価」(富士ゼロックス技術開発本部 基盤技術開発部)小林 洋子
- ◆「特異な分解反応を利用する紫外線硬化樹脂の精密構造解析」(名古屋工業大学大学院工学研究科 ながれ領域)大谷 肇
- ◎ 忘年会

第336 回例会

2007 年2月7日 ゆうほうと

- ◆「イオン付着質量分析法によるリアルタイム測定の高分子材料への応用」(キャノンアネルバ テクニクス 技術開発本部)丸山 はる美
- ◇「偏光ATR を活用した高分子材料の配向性評価」(旭化成 基盤技術研究所)池田 俊之
- ◇「On-line SEC/ESIMS を用いた合成高分子の構造解析」(住友化学 情報電子化学品研究所 分析物性グループ)土田 好進
- ◆「イオン性両親媒性高分子の特性と自己組織化」(京都大学 大学院工学研究科 高分子化学専攻)松岡 秀樹

第337 回例会

2007 年5月11日 ゆうほうと

- ◎ 平成 19 年度総会
- ◆「NMR 法による加硫ゴムの架橋点の構造解析」(長岡技術科学大学 物質・材料系)河原 成元
- ◇「臨界吸着クロマトグラフィーを用いたレジスト用共重合体のキャラクタリゼーション」(三菱レイヨン横浜技術研究所)百瀬 陽
- ◇「染色法とアルゴンイオンビームを用いた高分子材料の断面作製法の検討」(日東分析センター 亀山事業所)間宮 悟
- ◆「高分子ナノ構造体の構造と物性」(山形大学 工学部機能高分子工学科)井上 隆
- ◎ 懇親会

第338 回例会(夏期合宿)

2007 年7月6・7日 三井ガーデンホテル京都四条

【セッション1:講演】

- ◆「MALDI-MS アプリケーションの進歩」(島津製作所)川畑 慎一郎
- ◆「顕微赤外分光法を中心とする高分子材料の分析化学的研究」(群馬大学 産学連携先端研究推進機構共同研究イノベーションセンター)西岡 利勝
- ◆「合成高分子鎖を原子間力顕微鏡で直接見る」(科学技術振興機構)熊木治郎

【セッション2:分科会】

- ◎ A 分科会:MS
- ◎ B 分科会:IR
- ◎ C 分科会:SPM
- ◎ 懇親会

【セッション3:講演】

- ◆「サイズ排除クロマトグラフィーを用いたポリマーの分析」(東ソー分析センター)香川 信之
- ◆「NMR法によるタンパク質の構造と機能(分子間相互作用)解析」(理化学 研究所)廣田 洋

【セッション4:その他】

- ◎ 各分科会のまとめ報告

第339 回例会

2007 年9月12日 ゆうほうと

- ◆「電子スピン共鳴法による高分子の構造と分子運動特性評価」(名古屋工業大学 大学院工学研究科) 山本 勝宏
- ◇「発生ガス分析法を利用した ポリマー評価方法の開発検討」(ポリプラスチック テクニカルソリューションセンター) 押野博二
- ◇「感温性ポリアクリルアミド系共重合体の構造および物性」(三井化学分析センター) 山之上 巧
- ◆「シンクロトロン放射光を用いた X 線散乱法による高分子材料の構造解析」(京都工芸繊維大学 大学院 工芸科学研究科) 櫻井 伸一

第340 回例会

2007 年12月12日 ゆうほうと

- ◆「固体NMRの高分子材料構造解析への応用 —ゴム、樹脂を中心として—」(SRI 研究開発分析センター) 木村 英昭
- ◇「高分解能 SEM によるポリエチレン高次組織の観察手法」(三菱レイヨン 中央技術研究所 基礎解析センター) 藤井 泰行
- ◇「高分子材料の臭気分析」(三菱化学科学技術研究センター 四日市分析センター) 内田 久夫
- ◆「テラヘルツ分光法の基礎と応用」(大阪大学 レーザーエネルギー学研究センター) 谷 正彦
- ◎ 懇親会

第341 回例会

2008 年2月25日 ゆうほうと

- ◆「モジュレイテッド DSC(MDSC)を用いた高分子材料分析」(ティー・エイ・インストルメント ジャパン) 前田美奈子
- ◇「化学分解法を用いた定量的なポリイミドの組成分析」(日東分析センター 有機構造解析研究部) 長尾竜平
- ◇「ケミルミネッセンスによる高分子材料の酸化劣化評価」(住化分析センター 千葉事業所) 大図 佳子
- ◆「TOF-SIMS の基礎と応用・新しい技術」(旭化成 基盤技術研究所) 河野 禎市郎

第342 回例会

2008 年5月8日 ゆうほうと

- ◎ 平成 20 年度総会
- ◆「MALDI-MS/MS を用いた 各種工業材料の構造解析」(東レリサーチセンター 有機分析化学研究部) 佐藤 信之
- ◇「ポリカーボネート中の架橋剤と残留モノマーの定量分析」(フロンティア・ラボ 研究開発部) 小田桐 佳代
- ◇「SEM による高分子材料中のカーボンナノチューブの分散状態観察」(UBE 科学分析センター 高分子材料分析研究室) 榎尾 庄一
- ◆「赤外 MAIR 分光法による高分子薄膜の構造解析」(東京工業大学 大学院理工学研究科化学専攻) 長谷川 健
- ◎ 懇親会

第343 回例会 (夏期合宿)

2008 年7月11・12日 御殿場「時之栖」

【セッション1: 講演】

- ◆「SEC 分析におけるポイントと問題点」(リケンテクノス) 寶崎 達也

- ◆「極低加速電圧SEMによる材料極表面の新しい解析法」(JFE テクノリサーチ) 橋本 哲
- ◆「合成高分子のMALDI-TOFMSの共同測定と信頼性」(産業技術総合研究所) 衣笠 晋一

【セッション2:分科会】

- ◎ A 分科会:分離分析
- ◎ B 分科会:形態観察
- ◎ C 分科会:質量分析
- ◎ 懇親会

【セッション3:講演】

- ◆「熱分解-GC/MSを用いた漆塗膜の分析と応用」(明治大学) 宮腰哲雄
- ◆「過酸化水素水を用いた塗膜の耐候性試験技術」(豊田中央研究所) 館和幸

【セッション4:その他】

- ◎ 各分科会のまとめ報告

第344 回例会(最新高分子分析ハンドブック刊行記念講演会)

2008年9月19日 工学院大学

- ◆「歴代の高分子分析ハンドブックに見る高分子分析の進歩」(ハンドブック編集委員長) 高山 森
- ◆「ソフトレーザーイオン化質量分析法による高分子分析の新展開」(産総研) 佐藤 浩昭
- ◆「NMRとクロマトグラフィーによる合成高分子のキャラクタリゼーション:一次構造の分布を調べる」(徳島大工) 右手浩一
- ◆「DNA二重鎖中の脱塩基空間を反応場とする化学センシング」(東北大院) 寺前 紀夫
- ◎ 記念祝賀会

第345 回例会

2009年1月8日 ゆうほうと

- ◆「固体NMRとNMR遮蔽計算を用いた構造解析」(奈良女子大学 大学院人間文化研究科 共生自然科学専攻) 黒子 弘道
- ◇「使用済みコンタクトレンズケースより回収された微生物のMALDI-MSを用いた同定」(メニコ) 角出 泰造
- ◇「LC-ESI-MS法によるPOE系界面活性剤の分析」(ライオン分析技術センター) 埴原 鉦行
- ◆「超音速分子ジェット多光子イオン化法を基本とする環境負荷物質のオンラインリアルタイム計測技術の開発」(新日本製鐵 先端技術研究所 解析科学研究部) 林 俊一
- ◎ 懇親会

第346 回例会

2009年2月24日 ゆうほうと

- ◆「多変量解析を活用した材料解析—高分解能LC-MSデータ解析の事例を中心に—」(日産化学) 小澤 智行
- ◇「有機ナノ近接場赤外分析技術の開発」(トヨタ自動車 先端材料技術部) 高澤 信明
- ◇「¹³C NMRスペクトルの多変量解析によるアクリル系共重合体の組成決定」(徳島大学 大学院 STS、三菱レイヨン) 百瀬 陽
- ◆「酵素による構造脂質類の合成」(名古屋大学 大学院生命農学研究科) 岩崎 雄吾

第347 回例会

2009年4月21日 ゆうほうと

- ◎ 平成21年度総会

- ◆「GPC-NMR による機能性材料のキャラクタリゼーション」 (三菱化学科学技術研究センター) 櫻井 愛子
- ◇「HPLC ポストカラム誘導体化法による CoQ10 の迅速分析」 (資生堂 リサーチセンター) 島田 治男
- ◇「TOF-SIMS によるパルプ樹脂成分の紙表面へのブリード現象分析」 (王子製紙 総合研究所) 東 洋渡
- ◆「赤潮プランクトンが産生する生理活性天然物の構造解析」 (広島大学大学院理学研究科) 平賀 良知
- ◎ 懇親会

第348 回例会 (夏期合宿)

2009 年 7 月 10・11 日 スペースアルファ神戸

【セッション 1：講演】

- ◆「高分子のイメージングマスマスペクトロメトリー」 (関西医科大学) 矢尾 育子
- ◆「たかが添加剤、されど添加剤：添加剤分析の問題点を考える」 (三菱化学アナリティック) 高山 森
- ◆「高分子の酸化劣化とその温度依存性」 (早稲田大学) 伊藤 政幸

【セッション 2：分科会】

- ◎ A 分科会：形態観察・イメージング
- ◎ B 分科会：総合解析
- ◎ C 分科会：劣化・変成・安定化
- ◎ 懇親会

【セッション 3：講演】

- ◆「結晶性熱可塑性エラストマー／オイル系ゲルの研究 ―構造の発見、研究、用途開発、発展―」 (ブリヂストン) 真下 成彦
- ◆「近赤外分析法(定性)の工業材料への適用」 (富士ゼロックス) 小林 洋子

【セッション 4：その他】

- ◎ 各分科会のまとめ報告

第349 回例会

2009 年 9 月 7 日 ゆうほうと

- ◆「高速・高分解能の共焦点ラマンイメージングによる材料研究」 (ロックゲート) 東條 壮男
- ◇「凍結マイクロトーム装置による、電池セパレータの観察断面試料の作成と SEM による観察」 (日立マクセル分析センター) 宮田 一司
- ◇「酸化開始温度と劣化の関係」 (化学物質評価研究機構) 仲山 和海
- ◆「ヘッドスペース法による プラスチック製食品用器具・容器包装等の残存揮発性物質の定量分析」 (名古屋市衛生研究所) 大野 浩之

第350 回例会

2009 年 12 月 3 日 ゆうほうと

- ◆「液体クロマトグラフィーによる高分子材料の分析」 (リケンテクノス 分析センター) 寶崎 達也
- ◇「熱分析及び局所分析を用いたセルロースアセテートフィルムの解析」 (コニカミノルタ テクノロジーセンター) 松田 敦子
- ◇「熱分析手法による高分子材料の熱履歴評価および寿命予測評価法について」 (住化分析センター) 飯塚 友美子
- ◆「多糖の構造と戦略」 (三重大学 生物資源学部) 久松 眞
- ◎ 交流会

第351 回例会

2010 年2月4日 ゆうほうと

- ◆「クロマトグラフィー法および振動分光法を用いた燃料電池用電解質膜の劣化に関する解析」
(旭硝子中央研究所) 川原 健吾
- ◇「硫酸液抽出を前処理とするポリマー中の HALS の選択的・包括的分析法の開発」(三菱化学
アナリテック) 佃 由美子
- ◇「天然高分子材料“漆”の分析」(明治大学 理工学部) 本多 貴之
- ◆「プラスチックフィルムの表面処理の現状と処理状態の解析」(金沢工業大学) 小川 俊夫

第352 回例会

2010 年4月27日 ゆうほうと

◎平成22年度総会

- ◆「マイクロサンプリング質量分析法によるゴムの表面劣化解析」(キャノン) 加藤 久雄
- ◇「リアルタイム IR と多変量解析を組み合わせた高分子薄膜の反応解析」(日産化学) 松原 功達
- ◇「反応試薬を用いた熱分解ガスクロマトグラフィー/質量分析の活用事例の紹介」(住友電装) 真鍋
礼男
- ◆「ポリイミドへの超高压印加による秩序構造・凝集状態変化の計測と光・電子材料への応用」(東京工業
大学 理工学研究科) 安藤 慎治

◎懇親会

第353 回例会(夏期合宿)

2010 年7月9・10日 ラフォーレ修善寺

【セッション1:講演】

- ◆「無機ナノ粒子・ナノ構造表面をイオン化支援剤に用いたレーザー脱離イオン化質量分析法」
(関西大学 化学生命工学部 化学・物質工学科) 川崎 英也
- ◆「ナノ触診技術としての原子間力顕微鏡とその高分子材料への応用」(東北大学原子分子材料科学
高等研究機構) 中嶋 健
- ◆「放射光 X 線小角散乱と GPC/MALS を用いた β -1,3-グルカン/DNA 複合体の分子形状の決定」
(北九州市立大学 国際環境工学部) 櫻井 和朗

【セッション2:分科会】

- ◎A分科会:質量分析
- ◎B分科会:表面分析・電顕観察
- ◎C分科会:高次構造解析
- ◎懇親会

【セッション3:講演】

- ◆「自己血糖診断ビジネス —現状と展望—」(東京農工大学大学院工学研究院) 早出 広司
- ◆「水を科学することと化粧品の素材・製剤の開発について」(コーセー) 江川 淳一郎

【セッション4:その他】

- ◎各分科会のまとめ報告

第354 回例会

2010 年10月7日 ゆうほうと

- ◆「結像型2次元フーリエ分光法による分光断層像計測技術」(香川大学 工学部知能機械システム
工学科) 石丸 伊知郎
- ◇「固体NMR を利用したフェノール樹脂の硬化構造解析」(住ベリサーチ) 池田 延之
- ◇「各種耐候性試験による塗膜の劣化挙動の解析」(関西ペイント) 矢部 政実

- ◆「高分子表面・界面の先端計測手法としての和周波発生(SFG)分光」 (産業技術総合研究所) 宮前 孝行

第355 回例会

2011 年1月18日 ゆうほうと

- ◆「イオン液体と真空技術を組み合わせた新しい分析法とナノ材料作製法の開発」 (大阪大学 大学院 工学研究科・JST-CREST) 桑畑 進
- ◇「らせん軌道をもつ高分解能 MALDI TOFMS による共重合ポリマーの構造解析」 (日本電子) 佐藤 崇文
- ◇「選択分解反応を利用したポリマーのキャラクタリゼーション」 (日立化成工業) 平井 修
- ◆「生分解化を目指したポリプロピレン劣化の基礎研究」 (北見工業大学 工学部 バイオ環境化学科) 中谷 久之

◎ 交流会

第356 回例会 (高分子分析研究懇談会設立 50 周年記念講演会)

2011 年3月9日 工学院大学

- ◆「高分子分析研究懇談会の歴史と高分子分析の進歩」 (50 周年記念事業担当 研究懇談会運営副委員長) 大谷 肇
- ◆「様々な分解反応場を利用した高分子材料 および 生体試料のキャラクタリゼーション」 (中部大 応用生物) 石田 康行
- ◆「クロマトグラフィーと共に歩んだ50年」 (日本分析工業) 大栗 直毅
- ◆「高分子材料が引き起す宇宙開発事故と分析技術」 (化学物質評価研究機構) 大武 義人

◎ 記念祝賀会

B 日本分析化学会における講演会

第50 年会

2001 年 11 月 24 日 熊本大学工学部 創立 50 周年記念大会

- ◇「走査フォース顕微鏡による有機・高分子組織体の構造と物性評価」(九大有機基盤研セ、九大院工) ○高原 淳、田中 敬二、梶山 千里

第51 年会

2002 年 9 月 20 日 北海道大学

- ◇「糖鎖クラスター分子の設計と機能解析」(北大院理) 西村 紳一郎

第52 年会

2003 年 9 月 23 日 宮崎教育大学

- ◇「高選択的オリゴ糖合成へ向けた水解酵素の探索」(東北大院工) 正田 晋一郎

第55 年会

2006 年 9 月 22 日 大阪大学豊中キャンパス

- ◇「レーザー脱離イオン化法による合成高分子の質量分析」(関西大工) 荒川 隆一

第57 年会

2008 年 9 月 12 日 福岡大学七隈キャンパス

- ◇「カスタムメイド分光装置による高分子分析とバイオフォトンクスへの応用」
(九大院農) 小名 俊博

第58 年会

2009 年 9 月 24 日 北海道大学

- ◇「質量分析法による微生物のキャラクタリゼーション」(産総研環境管理・日本電子)
○佐藤 浩昭、寺本 華奈江

第59 年会

2010 年 9 月 15 日 東北大学川内北キャンパス

- ◇「熱分解 GC/MS を用いる高分子材料分析の新展開」(フロンティア・ラボ、名工大)
○渡辺忠一、○小田桐 佳代、大谷 肇

C 高分子分析討論会

第6回高分子分析討論会

2001年11月5・6日 工学院大学新宿校舎実行委員長：(工学院大学) 寺町 信哉

◆ 特別講演

「熱分解ガスクロマトグラフィーによる高分子分析今昔」(名古屋大) 柘植 新

◎ パネル討論

「高分子分析におけるハイフェネーテッドテクニック」

司会：(工学院大学) 寺町 信哉

パネラー：(大阪大) 右手浩一、(名古屋大) 大谷 肇、(出光石化) 宝崎達也、(都立大) 吉田博久

◆ 一般発表：76件

第7回高分子分析討論会

2002年11月21・22日 名古屋市工業研究所実行委員長：(シーエーシーズ) 後藤 幸孝

◆ 特別講演

「マクロモノマー重合体のキャラクタリゼーションと物性」(京都工芸繊維大) 塚原 安久

◎ 総合討論

「高分子分析討論会における分析技術の動向」(三菱化学) 後藤幸孝 (司会)

前処理技術 (アクトリサーチ) 高山 森、質量分析 (東レリサーチセンター) 佐藤信之、
熱分解GC (名大院工) 石田康行

◆ 一般発表 64件

第8回高分子分析討論会

2003年11月13・14日 工学院大学新宿校舎実行委員長：(産総研) 衣笠 晋一

◆ 特別講演

「Liquid Chromatography Analysis of Synthetic Polymers」(韓国 浦項工科大) 張 台鉉

◎ 総合討論

「高分子分析討論会における分析技術の動向 2」(産総研) 衣笠 晋一 (司会)

クロマトグラフィー：構造不均一性 (化評研) 宝崎達也、クロマトグラフィー：成分分析 (東ソー分析センター) 香川 信之、NMR (帝人) 松田 裕生

◆ 一般発表 71件

第9回高分子分析討論会

2004年11月25・26日 名古屋市工業研究所実行委員長：(TRI テクノ) 長野悦子

◆ 特別講演

「高分子の初期崩壊と自己修復」(名古屋大) 武田 邦彦

◎ 総合討論

「高分子分析討論会における分析技術の動向 3」(東ソー分析センター) 香川信之 (司会)

IR およびラマン (エス・ティ・ジャパン) 落合 周吉、表面分析 (豊田中央研究所) 杉浦 元保、
形態観察 (旭硝子) 山本 清

◆ 一般発表 73件

第10回高分子分析討論会

2005年10月27・28日 工学院大学新宿校舎

実行委員長：(旭硝子) 山本 清

◆ 特別講演

「The Power of Multiple Analytical Techniques, FT-IR, TMDSC, XRD and LFM, on the Identical Sample for the Study of Nanoconfinement」(Case Western Reserve University)

石田 初男

◎ 総合討論

「劣化解析」(エス・ティ・ジャパン) 落合 周吉 (司会)

パネラー：(化学物質評価研究機構) 大武 義人、(産業技術総合研究所) 佐藤 浩昭、
(豊田中研) 江崎 泰雄

◆ 一般発表 83 件

第11回高分子分析討論会

2006年10月26・27日 名古屋市工業研究所

実行委員長：(豊田合成) 渡辺 健市

◆ 特別講演

「高分子の新しい高次構造の創成と固体 NMR の展開」(東京工業大) 安藤 勲

「高分子の相互作用 HPLC」(工学院大) 寺町 信哉

◆ 一般発表 72 件

第12回高分子分析討論会

2007年11月6・7日 工学院大学新宿校舎

実行委員長：(第日本インキ) 小林 恒夫

◆ 特別講演

「合成高分子の質量分析の新展開」(関西大) 荒川 隆一

「高分子材料のナノ構造解析とナノ物性分析」(東京工業大) 西 敏夫

◆ 一般発表 82 件

第13回高分子分析討論会

2008年11月26・27日 名古屋国際会議場

実行委員長：(豊田中央研究所) 杉浦 元保

◆ 特別講演

「高分子材料の表面・界面構造・物性解析技術」(九州大) 高原 淳

「高分子材料の NMR による解析」(東京農工大) 朝倉 哲郎

◆ 一般発表 86 件

第14回高分子分析討論会

2009年11月4・5日 工学院大学新宿校舎

実行委員長：(神奈川大学) 西本 右子

◆ 特別講演

「バイオベースマテリアルの新展開：バイオマス度と生分解性識別法の観点から」(京都工芸繊維大)

木村 良晴

「構造制御された高分子薄膜の相転移」(首都大学東京大学院) 吉田 博久

◆ 一般発表 100 件

第15 回高分子分析討論会

2010 年 12 月 8～10 日 名古屋国際会議場

(懇談会設立 50周年と討論会 15回開催を記念して 国際会議 International Conference on Polymer Analysis and Characterization に拡大して開催)

実行委員長：(名古屋工業大学) 大谷 肇

◆ 招待講演

「Advances in Polymer Characterization by Field-Flow Fractionation Methods」(Tom as Bata Univ., Czech Republic) Josef Janca

「High-Resolution Visualization and Compositional Analysis of Polymers with Atomic Force Microscopy」(Agilent Technologies, USA) Sergei Magonov

「HPLC Characterization of Complex Polymers」(Pohang Univ. Sci. Technol., Korea) Taihyun Chang

「Frontiers in Polymer Characterization by Mass Spectrometry」(NIST, USA) William E. Wallace

「Effect of Temperature on the Structure of Polybenzoxazines: Polymerization, Structural Rearrangement, and Degradation」(Case Western Reserve Univ., USA) Hatsuo Ishida

「Chromatography and Mass Spectrometry for Analysis of Chemical Structure Changes during Degradation of Inert and Renewable Polymers」(The Royal Inst. Technol. [KTH], Sweden) Sigbritt Karlsson

「New Ways to Study Fluoropolymers with Multidimensional NMR」(Univ. of Akron, USA) Peter L. Rinaldi

「Recent Advances of Chemical and Physical Characterization of Polymers by Vibrational Spectroscopy」(University of Duisburg-Essen, Germany) Heinz W. Siesler

◆ 一般発表 98件

D 講習会

第22回高分子分析技術講習会：平成12年度後期

2001年3月7・8日 北とびあ 受講者：110名

- ◇ 赤外分光法の応用 (アクトリサーチ) 高山 森
- ◇ 核磁気共鳴分光法 (ブリヂストン) 加藤 信子
- ◇ 表面分析と微小分析 (三菱電機) 狩野 勇
- ◇ 電子・電機産業用高分子材料の分析 (日化テクノサービス) 杉谷 初雄
- ◇ ゴムおよびプラスチックの総合分析 (JSR) 平柳 滋敏

第23回高分子分析技術講習会：平成13年度前期

2001年9月5・6日 北とびあ 受講者：40名

- ◇ 高分子分析概論 (東北大理) 寺前 紀夫
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 八嶋 博
- ◇ 赤外分光法による高分子分析 (アクトリサーチ) 高山 森
- ◇ 高速液体クロマトグラフィーによる高分子分析 (日化テクノサービス) 杉谷 初雄
- ◇ 核磁気共鳴法による高分子分析 (ブリヂストン) 加藤 信子
- ◇ ガスクロマトグラフィーによる高分子分析 (日本分析工業) 平柳 滋敏

第24回高分子分析技術講習会：平成13年度後期

2002年4月4・5日 北とびあ

- ◇ 赤外吸収分光法の応用 (アクトリサーチ) 高山 森
- ◇ 核磁気共鳴分光法 (ブリヂストン) 加藤 信子
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 八嶋 博
- ◇ 電子・電機産業用高分子材料の分析 (日化テクノサービス) 杉谷 初雄
- ◇ サイズ排除クロマトグラフィー(SEC)応用編 (シーエーシーズ) 後藤 幸孝
- ◇ ゴム及びプラスチックの総合分析 (日本分析工業) 平柳 滋敏

第25回高分子分析技術講習会：平成14年度前期

2002年9月5・6日 幕張メッセ 受講者：54名

- ◇ 高分子分析概論 (工学院大工) 寺町 信哉
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 八嶋 博
- ◇ 赤外分光法による高分子分析 (アクトリサーチ) 高山 森
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析 (シーエーシーズ) 後藤 幸孝
- ◇ 核磁気共鳴法による高分子分析 (帝人) 松田 裕生
- ◇ ガスクロマトグラフィーによる高分子分析 (名大) 大谷 肇

第26回高分子分析技術講習会：平成14年度後期

2003年3月3・4日 北とびあ 受講者：65名

- ◇ 赤外分光法の応用 (アクトリサーチ) 高山 森
- ◇ 核磁気共鳴分光法 (帝人) 松田 裕生
- ◇ ガスクロマトグラフィー/質量分析法による高分子分析の実用例 (名大院工) 大谷 肇
- ◇ サイズ排除クロマトグラフィーによる高分子分析 (応用編) (シーエーシーズ) 後藤 幸孝
- ◇ 総合分析：前処理技術の応用 (東レリサーチセンター) 八嶋 博
- ◇ 総合分析：電子・電機関連高分子の分析 (日化テクノサービス) 杉谷 初雄

第27回高分子分析技術講習会：平成15年度前期

2003年9月3・4日 北とびあ 受講者：54名

- ◇ 高分子分析概論 (工学院大工) 寺町 信哉
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 八嶋 博
- ◇ 赤外分光法による高分子分析 (ダイヤ分析センター) 高山 森
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析 (シーエーシーズ) 後藤 幸孝
- ◇ 核磁気共鳴法による高分子分析 (帝人) 松田 裕生
- ◇ ガスクロマトグラフィー及び質量分析法による高分子分析 (名大院工) 大谷 肇

第28回高分子分析技術講習会：平成15年度後期

2004年3月2・3日 北とびあ 受講者：56名

- ◇ 赤外吸収分光法の応用 (ダイヤ分析センター) 高山 森
- ◇ 核磁気共鳴分光法 (帝人) 松田裕生、永阪文惣
- ◇ ガスクロマトグラフィー/質量分析法による高分子分析の実用例 (名大院工) 大谷 肇
- ◇ サイズ排除クロマトグラフィーによる高分子分析 (応用編) (ダイヤ分析センター) 後藤 幸孝
- ◇ 総合分析(1)：高分子材料の有機組成分析 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 総合分析(2)：電子・電気関連高分子の分析 (日化テクノサービス) 杉谷 初雄

第29回高分子分析技術講習会：平成16年度前期

2004年9月27・28日 北とびあ 受講者：61名

- ◇ 高分子分析概論 (工学院大工) 寺町 信哉
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 赤外分光法による高分子分析 (ダイヤ分析センター) 高山 森
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析 (ダイヤ分析センター) 後藤 幸孝
- ◇ 核磁気共鳴法による高分子分析 (帝人) 松田 裕生
- ◇ ガスクロマトグラフィー及び質量分析法による高分子分析 (名大院工) 大谷 肇

第30回高分子分析技術講習会：平成16年度後期

2005年3月1・2日 北とびあ 受講者：64名

- ◇ 赤外吸収分光法の応用 (ダイヤ分析センター) 高山 森
- ◇ 核磁気共鳴分光法 (帝人) 永阪 文惣
- ◇ サイズ排除クロマトグラフィーによる高分子分析 (応用編) (ダイヤ分析センター) 後藤 幸孝
- ◇ ガスクロマトグラフィー/質量分析法による高分子分析の実用例 (名大院工) 大谷 肇
- ◇ 総合分析(1)：高分子材料の有機組成分析 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 総合分析(2)：電子・電気関連高分子の分析 (日化テクノサービス) 杉谷 初雄

第31回高分子分析技術講習会：平成17年度前期

2005年9月5・6日 北とびあ 受講者：69名

- ◇ 高分子分析概論 (工学院大工) 寺町 信哉
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 赤外分光法による高分子分析 (ダイヤ分析センター) 高山 森
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析 (ダイヤ分析センター) 後藤 幸孝
- ◇ 核磁気共鳴法による高分子分析 (帝人) 松田 裕生
- ◇ ガスクロマトグラフィー及び質量分析法による高分子分析 (名工大 院工) 大谷 肇

第32 回高分子分析技術講習会：平成 17 年度後期

2006 年 3 月 6・7 日 北とびあ 受講者：56 名

- ◇ 赤外吸収分光法の応用 (ダイヤ分析センター) 高山 森
- ◇ 核磁気共鳴分光法 (帝人) 永阪文惣
- ◇ サイズ排除クロマトグラフィーによる高分子分析 (応用編) (ダイヤ分析センター) 後藤 幸孝
- ◇ ガスクロマトグラフィー/質量分析法による高分子分析の実用例 (名工大 院工) 大谷 肇
- ◇ 総合分析 (1)：高分子材料の有機組成分析 (東レリサーチセンター) 佐藤信之
- ◇ 総合分析 (2)：電子材料・工業材料関連高分子の分析 (日立化成工業) 野本雅弘

第33 回高分子分析技術講習会：平成 18 年度前期

2006 年 9 月 5・6 日 工学院大学 受講者：81 名

- ◇ 高分子分析概論 (工学院大工) 寺町 信哉
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 赤外分光法による高分子分析 (ダイヤ分析センター) 高山 森
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析 (ダイヤ分析センター) 後藤 幸孝
- ◇ 核磁気共鳴法による高分子分析 (帝人) 松田 裕生
- ◇ ガスクロマトグラフィー及び質量分析法による高分子分析 (名工大 院工) 大谷 肇

第34 回高分子分析技術講習会：平成 18 年度後期

2007 年 3 月 5・6 日 工学院大学 受講者：81 名

- ◇ 赤外吸収分光法の応用 (ダイヤ分析センター) 高山 森
- ◇ 核磁気共鳴分光法 (帝人) 永阪 文惣
- ◇ ガスクロマトグラフィー/質量分析法による高分子分析の実用例 (名工大 院工) 大谷 肇
- ◇ サイズ排除クロマトグラフィーによる高分子分析 (応用編) (ダイヤ分析センター) 後藤 幸孝
- ◇ 総合分析 (1)：高分子材料の有機組成分析 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 総合分析 (2)：電子材料・工業材料関連高分子の分析 (日立化成工業) 野本 雅弘

第35 回高分子分析技術講習会：平成 19 年度前期

2007 年 9 月 5・6 日 工学院大学 受講者：73 名

- ◇ 高分子分析概論 (工学院大工) 寺町 信哉
- ◇ ガスクロマトグラフィー及び質量分析法による高分子分析 (名工大 院工) 大谷 肇
- ◇ 赤外分光法による高分子分析 (ダイヤ分析センター) 高山 森
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 核磁気共鳴法による高分子分析 (帝人) 松田 裕生
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析 (ダイヤ分析センター) 後藤 幸孝

第36 回高分子分析技術講習会：平成 19 年度後期

2008 年 3 月 13・14 日 工学院大学 受講者：81 名

- ◇ 赤外吸収分光法の応用 (ダイヤ分析センター) 高山 森
- ◇ 核磁気共鳴分光法 (帝人) 永阪 文惣
- ◇ ガスクロマトグラフィー/質量分析法による高分子分析の実用例 (名工大 院工) 大谷 肇
- ◇ サイズ排除クロマトグラフィーによる高分子分析 (応用編) (ダイヤ分析センター) 後藤 幸孝
- ◇ 総合分析 (1)：高分子材料の有機組成分析 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 総合分析 (2)：電子材料・工業材料関連高分子の分析 (日化テクノサービス) 野本 雅弘

第37 回高分子分析技術講習会：平成 20 年度前期

2008 年 9 月 3・4 日 工学院大学 受講者：79 名

- ◇ 高分子分析概論 (名工大 院工) 大谷 肇
- ◇ ガスクロマトグラフィー及び質量分析法による高分子分析 (中部大) 石田 康行
- ◇ 赤外分光法による高分子分析 (ダイヤ分析センター) 高山 森
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 核磁気共鳴法による高分子分析 (帝人) 松田 裕生
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析 (ダイヤ分析センター) 後藤 幸孝

第38 回高分子分析技術講習会：平成 20 年度後期

2009 年 3 月 11・12 日 工学院大学 受講者：60 名

- ◇ 赤外吸収分光法の応用 (三菱化学アナリティック) 高山 森
- ◇ 核磁気共鳴分光法 (帝人) 永阪 文惣
- ◇ ガスクロマトグラフィー/質量分析法による高分子分析の実用例 (名工大 院工) 大谷 肇
- ◇ サイズ排除クロマトグラフィーによる高分子分析(応用編) (三菱化学アナリティック) 後藤 幸孝
- ◇ 総合分析 (1)：高分子材料の有機組成分析 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 総合分析 (2)：電子材料・工業材料関連高分子の分析 (日立化成テクノサービス) 野本 雅弘

第39 回高分子分析技術講習会：平成 21 年度前期

2009 年 9 月 1・2 日 工学院大学 受講者：69 名

- ◇ 高分子分析概論 (名工大 院工) 大谷 肇
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 赤外分光法による高分子分析 (三菱化学アナリティック) 高山 森
- ◇ ガスクロマトグラフィー及び質量分析法による高分子分析 (中部大) 石田 康行
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析 (三菱化学アナリティック) 後藤 幸孝
- ◇ 核磁気共鳴法による高分子分析 (帝人) 松田 裕生

第40 回高分子分析技術講習会：平成 21 年度後期

2010 年 3 月 11・12 日 工学院大学 受講者：78 名

- ◇ 赤外吸収分光法の応用 (三菱化学アナリティック) 高山 森
- ◇ サイズ排除クロマトグラフィーによる高分子分析(応用編) (三菱化学アナリティック) 後藤 幸孝
- ◇ 総合分析 (1)：高分子材料の有機組成分析 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ ガスクロマトグラフィー/質量分析法による高分子分析の実用例 (名工大 院工) 大谷 肇
- ◇ 核磁気共鳴分光法 (帝人) 永阪 文惣
- ◇ 総合分析 (2)：電子材料・工業材料関連高分子の分析 (日立化成テクノサービス) 野本 雅弘

第41 回高分子分析技術講習会：平成 22 年度前期

2010 年 9 月 2・3 日 工学院大学 受講者：69 名

- ◇ 高分子分析概論 (名工大 院工) 大谷 肇
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 赤外分光法による高分子分析 (三菱化学アナリティック) 高山 森
- ◇ ガスクロマトグラフィー及び質量分析法による高分子分析 (中部大) 石田 康行
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析 (三菱化学アナリティック) 後藤 幸孝
- ◇ 核磁気共鳴法による高分子分析 (帝人) 松田 裕生

第42回高分子分析技術講習会：平成22年度後期

2011年3月10・11日 工学院大学

- ◇赤外吸収分光法の応用（三菱化学アナリティック）高山 森
- ◇サイズ排除クロマトグラフィーによる高分子分析(応用編)（三菱化学アナリティック）後藤 幸孝
- ◇ガスクロマトグラフィー/質量分析法による高分子分析の実用例（名工大 院工）大谷 肇
- ◇核磁気共鳴分光法（帝人）永阪 文惣
- ◇総合分析（1）：高分子材料の有機組成分析（東レリサーチセンター）佐藤 信之
- ◇総合分析（2）：電子材料・工業材料関連高分子の分析（日立化成テクノサービス）野本 雅弘

E 出版

1. 「高分子分析ハンドブック（第4版）」2008年9月（朝倉書店）
2. 「分析化学」特集“高分子分析の新潮流”2011年第60巻第3号（日本分析化学会）

F 会員リスト（現会員 および 歴代会員）

1. 現会員数

合計	123 名
内訳	
名誉会長等の役員	3 名
法人会員	79 名
個人会員	41 名

2. 役員等

【名誉会長】 東京大学 名誉教授

藤原 鎮男

【顧問】

荒木 峻 東京都立大学 名誉教授

田中 誠之 明星学苑 常任理事

3. 個人会員 [会員名（五十音順）と所属を記載]

荒川 隆一	関西大学 工学部 応用化学科
HATSUO ISHIDA	CASE WESTERN RESERVE UNIVERSITY
石田 康行	中部大学 応用生物学部 応用生物化学科
今枝 一男	日本食用塩研究会
右手 浩一	徳島大学 工学部 化学応用工学科

小川 俊夫	金沢工業大学 工学部 物質応用工学科
大谷 肇	名古屋工業大学 大学院 工学研究科 物質工学専攻
大津留 修	科学警察研究所
小棹 理子	ソニー学園 湘北短期大学
小名 俊博	九州大学 大学院 農学研究院

片野 肇	福井県立大学 生物資源学部
金子 六郎	東京農工大学 名誉教授
川井 忠智	工学院大学 工学部 応用化学科
川口 聖司	(財) 機械振興協会 技術研究所
川口 正剛	山形大学 工学部

衣笠 晋一	産業技術総合研究所 計測標準研究部門 先端材料科
雲岡 義雄	科学警察研究所 附属鑑定所
倉嶋 直樹	関税中央分析所
小林 洋子	(元) 富士ゼロックス(株)
斎藤 剛	産業技術総合研究所 計測標準研究部門 計量標準システム科

佐藤 宗衛	(元) 東京税関
佐藤 壽彌	東京農工大学 名誉教授
佐藤 浩昭	産業技術総合研究所 環境管理研究部門計測技術研究グループ
佐藤 博	長崎国際大学 薬学部
杉谷 嘉則	神奈川大学 理学部 化学科
千田 貢	京都大学 名誉教授
高橋 かより	産業技術総合研究所 計測標準研究部門 先端材料科
高原 淳	九州大学 先導物質化学研究所
柘植 新	名古屋大学 名誉教授
堤内 要	中部大学 応用生物学部 応用生物化学科
寺前 紀夫	東北大学大学院 理学研究科 化学専攻
寺町 信哉	工学院大学 名誉教授
西岡 利勝	群馬大学 客員教授
西本 右子	神奈川大学 理学部 化学科
服部 敏明	豊橋技術科学大学 物質工学系
平野 朋広	徳島大学 大学院 ソシオテクノサイエンス研究部
平柳 滋敏	(元) 日本分析工業(株)
松原 秀樹	愛知県産業技術研究所
松山 重倫	産業技術総合研究所 計測標準研究部門 高分子標準研究室
宮腰 哲雄	明治大学 理工学部 応用化学科
山田 浩二	(独)大阪市立工業研究所 加工技術研究部

■ 2001 年以降在籍した旧個人会員 (2001 年以降の名簿に記載されていた所属を記した)

内山 一美	東京都立大学大学院 工学研究科 応用化学専攻
大澤 敏	金沢工業大学 工学部 先端材料工学科
貝原 巳樹雄	一関工業高等専門学校 物質化学工学専攻科
北野 利明	
黒崎 和夫	(元) 東京工業大学
佐藤 健二	いわき明星大学 理工学部
高橋 亮	群馬大学 大学院 工学研究科
中村 茂夫	神奈川大学 工学部 応用化学科
西岡 篤夫	東京工業大学 名誉教授 (顧問)
原 孝美	金沢工業高等専門学校
藤原 譲	神奈川大学 理学部 情報科学科
保母 敏行	東京都立大学大学院 工学研究科 応用化学専攻
村元 昭彦	(元) 工業所有権協力センター
森 定雄	(元) 三重大学 工学部

4. 法人会員 [法人名と代表者を記載]

旭化成ケミカルズ(株)	福田 和繁 (2010～)
旭化成(株) 基盤技術研究所	小西 徳三 (2007)
	尾崎 勝 (2006)
	丹治 進 (2003～2005)
	三井 修 (～2002)
旭硝子(株) 中央研究所	鈴木 俊夫 (2010～)
	山本 清 (～2009)
荒川化学工業(株) 研究所	末友 茂 (～20)
出光興産(株) 先進技術研究所	中川 将 (2005～)
	木寺 弘親 (2003～2004)
	清宮 健 (2002)
	津村 修 (～2001)
AGC セイミケミカル(株)	米森 重明 (2009～)
(株)エス・ティ・ジャパン	落合 周吉 (2001～)
王子製紙(株)	東 洋渡 (2008～)
	宮川 孝 (2004～2007)
花王(株) 解析科学研究所	小池 亮 (2008～)
	脇阪 達司 (～2007)
(財)化学物質評価研究機構	大武 義人 (～2002, 2005～)
	寶崎 達也 (2003～2004)
(株)カネカテクノリサーチ 材料分析部	松尾 和彦 (2009～)
	出口 義国 (2008)
	深田 昇 (2004～2007)
	西垣 昌彦 (～2003)
(株)カネカ	新宮領 宏 (2010～)
関西ペイント(株)	矢部 政実
(株)クラレくらしき研究所	石井 孝浩 (2004～)
	板谷 利昭 (2003)
	網屋 繁俊 (～2002)
クリタ分析センター(株)	西尾 友宏 (2009～)
(株)コーセー 研究所	安田 純子 (2004～)
	亀山 浩一 (～2003)
コニカミノルタテクノロジーセンター(株)	松田 敦子 (2010～)
	五十川 渡 (2008～2009)
	上田 章江 (2004～2007)
	松田 敦子 (2002～2003)
	前田 良三 (～2001)
サン・トックス(株)	岡田 宏明 (2009～)
シーアイ化成工業(株)	松本 博文 (2010～)

JSR(株) 筑波研究所	高橋 玲子 (2009～)
	椎橋 透 (2001～2008)
(株)資生堂 第2リサーチセンター	中谷 善昌 (2005～)
	難波 隆二郎 (～2004)
昭光通商(株) 科学システム部	長瀬 単史 (2004～)
	森永 雅夫 (～2003)
住化分析センター(株)	近藤 晃弘 (2010～)
	村上 留美 (2007～2009)
	高橋 夕佳 (2004～2006)
	神谷 夕佳 (～2003)
住友化学(株) 石油化学品研究所	栗林 浩 (2010～)
	笠原 達也 (2006～2009)
	横山 利男 (2004～2005)
	水沼 考二 (～2003)
住友化学(株) 筑波研究所	岡田 明彦 (2004～)
	佐々木 俊夫 (～2003)
住友金属鉱山(株) 中央研究所	寺尾 俊昭 (2010～)
	渡辺 勝明 (2004～2009)
	児玉 竜二 (～2003)
住友スリーエム(株)	柏原 督弘
住友電装(株) 研究評価センター	真鍋 礼男
住べ・リサーチ(株) 分析評価部	平池 修 (2008～)
	山本 隆久 (2007)
	仙波 俊裕 (～2003)
星光 PMC(株)	外城 稔雄 (2010～)
	茨木 英夫 (2008～2009)
積水化成工業(株) 総合研究所	滝 多計之 (2008～)
	尾崎 益教 (2003～2007)
綜研化学(株) 研究開発センター	松本 尚久 (2007～)
大日本印刷(株) ナノサイエンス研究センター	藤村 秀夫 (2008～)
	黒田 孝二 (～2007)
太陽誘電(株) 総合研究所	藤尾 佳史 (2009～)
	鳥羽 賢一 (～2008)
ダウ・ケミカル日本(株)	阿部 龍美 (2004～)
	寺石 訓子 (～2003)
(株)TRI テクノ	篠原 幸司 (2008～)
	長野 悦子 (～2007)
帝人(株) 東京研究センター	平坂 雅男 (2009～)
	村上 敬 (2007～2008)
	中川 泰雄 (2002～2006)
	三木 哲郎 (～2001)

DIC(株) 千葉工場分析センター (旧社名：大日本インキ化学工業(株))	吉田 聡 (2008～) 小林 恒夫 (2004～2007) 清野 實 (2002～2003) 松本 隆敬 (～2001)
DIC(株) 分析センター総合研究所 (旧社名：大日本インキ化学工業(株))	仲村 仁浩 (2009～) 栗原 健二 (2002～2008) 高田 加奈子 (～2001)
電気化学工業(株) 青海工場	佐藤 幹敏 (2009～) 吉田 誠 (2008)
電気化学工業(株) 加工技術研究所	小宮山 真司 (2004～)
電気化学工業(株) 千葉工場	藤原 隆幸 (2008～) 林 卓治 (～2007)
電気化学工業(株) 中央研究所	吉田 誠 (2010～) 古川 洋一郎 (～2009)
電気化学工業(株) 分析解析センター 大船分室	保坂 明良 (2004～)
東京インキ(株) 吉野原工場	小島 富二男 (2004～) 細田 英二 (～2003)
(株)東ソー分析センター 東洋紡績(株)	香川 信之 小関 徳昭 (2010～) 高橋 則子 (2002～2009) 加地 篤 (～2001)
(株)東レリサーチセンター 滋賀研究部	佐藤 信之 (2002～) 十時 稔 (～2001)
トステム(株)	平本 浩二 (2010～)
豊田合成(株)	渡辺 健市
トヨタ自動車(株)	牧野 浩 (2009～) 石井 勝 (2008) 杉本 剛 (～2001, 2004～2007) 近藤 拓也 (2002～2003)
(株)豊田中央研究所	杉浦 元保
ニチアス(株) 鶴見研究所	笠間 厚子
日産化学工業(株)	小澤 智行 (2007～)
(株)日東分析センター	木村 いくみ (2008～) 川島 哲哉 (～2007)
日本合成化学工業(株) 中央研究所	西本 ゆかり (2009-) 福田 自秀 (2004-2008)
日本電子(株)	上田 祥久 (2008-) 田中 一夫 (2007)
日本発条(株)	永坂 一成 (2007-)

日本分析工業(株)	大栗 直毅
BASF コーティングスジャパン(株)	笠間 裕子 (2009～)
	鶴見 浩一郎 (2005～2008)
日立化成工業(株) 鹿島工場	濱田 啓(2008～)
	押久保 寿夫 (2001～2007)
日立化成工業(株) 山崎事業所	平井 修 (～2007, 2010～)
	海野 晶浩 (2008～2009)
日立化成テクノサービス(株)	野本 雅弘 (2008～)
(旧社名：日化テクノサービス(株))	杉谷 初雄 (～2007)
日立マクセル(株)	篠本 さやか (2008～)
(株)フジクラ 環境・分析センター	尾鍋 和憲 (2009～)
	宮田 裕之 (～2008)
富士ゼロックス(株) 研究技術開発本部	小川 徹 (2010～)
	小林 洋子 (～2009)
富士フイルム(株) 解析技術センター	津野 慎治 (2009～)
(旧社名：富士写真フイルム(株))	渡辺 克彦 (～2008)
(株)ブリヂストン 研究部	原田 美奈子 (2004～)
	加藤 信子 (～2003)
フロンティアラボ(株)	渡辺 忠一 (2008～)
ポリプラスチックス(株)	原科 初彦 (2007～)
	加藤 浩一 (～2006)
(株)三井化学分析センター	山本 ゆかり (2007～)
	水野 章 (～2006)
(株)三菱化学アナリテック	後藤 幸孝 (2003～)
(旧社名：ダイヤ分析センター、アクトリサーチ)	高山 森 (～2002, 2007～)
(株)三菱化学科学技術研究センター	柴田 理 (2009～)
(旧社名：(株)シーエーシーズ)	武居 尚英 (2003～2008)
	後藤 幸孝 (～2002)
三菱レイヨン(株) 中央技術研究所	若林 茂夫 (2002～)
	中内 純 (～2001)
(株)メニコン 総合研究所	中田 和彦 (2002～)
(株)UBE科学分析センター 千葉研究所	宮内 康次 (2009～)
(株)UBE科学分析センター 分析部	陣田 一也
ライオン(株) 分析センター	埴原 鉦行 (2010～)
	田中 孝祐 (2002～2006)
	田中 正一 (～2001)
リケンテクノス(株)	寶崎 達也 (2007～)
	高橋 成年 (～2002, 2004～2006)
	箕島 亘 (2003)

■ 2001 年以降に在籍した旧法人会員

アルプス電気(株) 中央研究所	後藤 こずえ (2002～2003)
出光石油化学(株) 樹脂研究所構造物性研究室	若林 淳 (2003～2006)
(株)興人	宝崎 達也 (～2002)
昭和電工(株) 総合研究所分析物性センター	高尾 裕一 (2004～2007)
	高橋 豊彦 (～2003)
新日本石油(株) 研究開発本部	守田 英太郎 (2008)
新日本石油(株) 中央技術研究所 試験分析センター	花輪 浩一 (2004～2007)
スリーボンド(株) 開発部応用試験課	後藤 隆生 (～2003)
大東化学(株) 研究開発本部	白井 英夫 (2007～2009)
大日本印刷(株) 技術開発センター 物性分析研究所	黒田 孝二 (2005～2007)
チッソ石油化学(株) 高分子研究所 開発担当	大木 義之 (～2003)
帝人化成(株) プラスチックステクニカルセンター	相田 伸一 (2007～2008)
	速水 和郎 (2004～2006)
デュボン(株) 中央技術研究所 材料分析研究室	長島 功 (～2003)
東京ガス(株) 基礎技術研究所 分析科学チーム	堀 晃司 (～2002)
東芝ナノアナリシス(株)	長田 文美 (2004～2007)
	酒井 公人 (～2003)
東芝電子エンジニアリング(株)	長田 文美 (2002～2003)
東洋化学(株) 研究開発部	茂呂居 昭 (～2003)
(株)トクヤマ RC 研究所	千々松 宏 (～2006)
日本板硝子テクノロジーリサーチ(株)	野津 敬士 (～2001)
日本ウォーターズ(株)	江崎 達哉 (2008～2009)
	畠山 絵里奈 (2007)
日本石油(株) 中央技術研究所	生明 清 (～2003)
日本分光(株) 応用技術課	千田 正昭 (～2001)
日本ポリオレフィン(株) 分析チーム	川上 重信 (～2003)
日本ポリケム(株) 材料開発センター	大澤 全裕 (～2002)
日本ユニカー(株) 樹脂技術研究所	林 晃誠 (～2003)
P & G研究開発本部 分析部門	黄 虎 (～2003)
富士写真フィルム(株) 足柄研究所	前川 敏彦 (～2007)
三菱化学(株) 筑波事業所樹脂加工センター	宮下 和久 (～2001)
三菱樹脂(株) 総合研究所物性分析グループ	野々山 寛 (～2003)
三菱電機(株) 先端技術総合研究所	狩野 勇 (～2001)
三ツ星ベルト(株)	久保本 謙二 (2007～2009)
(株)リコー 研究開発本部 中央研究所	松本 美穂子 (2001～2008)

G 幹事、運営委員 および 学会事務局

1. 幹事 および 運営委員

<2001年>

会長

寺前 紀夫 東北大学

幹事委員長

大谷 肇 名古屋大学

幹事

足立 幸男 富士ゼロックス

岡田 明彦 住友化学工業

黒田 孝二 大日本印刷

後藤 幸孝 シーエーシーズ

高山 森 アクトリサーチ

田中孝祐 ライオン

寺町 信哉 工学院大学工学部

水野 章 三井分析センター

箕島 恒 リケンテクノス

<2002年>

運営委員長

寺町 信哉 工学院大学工学部

副運営委員長

後藤 幸孝 シーエーシーズ

平柳 慈敏 日本分析工業

宝崎 達也 出光石油化学

運営委員

石田 康行 名古屋大学

岡田 明彦 住友化学工業

衣笠 晋一 産業技術総合研究所

黒田 孝二 大日本印刷

佐藤 信之 東レリサーチセンター

杉浦 元保 豊田中央研究所

高山 森 アクトリサーチ

田中 孝祐 ライオン

箕島 恒 リケンテクノス

若林 茂夫 三菱レイヨン

<2003年>

運営委員長

寺町 信哉 工学院大学工学部

副運営委員長

後藤 幸孝 ダイヤ分析センター

衣笠 晋一 産業技術総合研究所

宝崎 達也 化学物質評価研究機構

運営委員

石田 康行 名古屋大学

板谷 利昭 クラレ

大関 博 旭化成基板技術研

香川 信之 東ソー分析センター

佐藤 信之 東レリサーチセンター

杉浦 元保 豊田中央研究所

高山 森 ダイヤ分析センター

長野 悦子 TRI テクノ分析センター

若林 茂夫 三菱レイヨン

脇阪 達司 花王構造解析センター

<2004年>

運営委員長

後藤 幸孝 ダイヤ分析センター

副運営委員長

衣笠 晋一 産業技術総合研究所

佐藤 信之 東レリサーチセンター

松田 裕生 帝人

運営委員

石田 康行 名古屋大学

石井 孝浩 クラレ

大関 博 旭化成工業

落合 周吉 エステイジヤパン

香川 信之 東ソー分析センター

長野 悦子 TRI テクノ分析センター

原田 美奈子 ブリヂストン

山本 清 旭硝子

脇阪 達司 花王

渡辺 健市 豊田合成

<2005年>

運営委員長

後藤 幸孝 ダイヤ分析センター

副運営委員長

衣笠 晋一 産業技術総合研究所

佐藤 信之 東レリサーチセンター

松田 裕生 帝人

石田 康行 名古屋大学

運営委員

川口正剛 山形大学

石井 孝浩 クラレ

加藤 浩一 ポリプラスチック
 落合 周吉 エス・ティ・ジャパン
 小林 恒夫 大日本インキ
 渡辺 健市 豊田合成
 原田 美奈子 ブリヂストン
 山本 清 旭硝子

<2006年>

運営委員長

脇阪達司

花王

副運営委員長

石田康行
 大関 博
 永阪 文惣
 渡辺 健市

名古屋大学
 旭化成
 帝人
 豊田合成

運営委員

川井 忠智
 服部 敏明
 松山 重倫
 小林 端代
 宮内 康次
 高橋 則子
 川口 正剛
 小林 恒夫
 加藤 浩一

工学院大学
 豊橋技術科学大学
 産業技術総合研究所
 TRI テクノ
 UBE科学分析センター
 東洋紡 総合研究所
 山形大学
 大日本インキ化学工業
 ポリプラスチック

<2007年>

運営委員長

脇阪 達司

花王構造解析センター

副運営委員長

大関 博
 永阪 文惣
 渡辺 健市
 小林 恒夫

旭化成基盤技術研究所
 帝人先端技術研究所
 豊田合成
 大日本インキ化学工業

運営委員

川井 忠智
 服部 敏明
 松山 重倫
 小林 端代
 宮内 康次
 高橋 則子
 右手 浩一
 海野 晶浩
 武居 尚英
 鶴見 浩一郎

工学院大学工学部
 豊橋技術科学大学
 産総研
 TRI テクノ
 UBE科学分析センター
 東洋紡 総合研究所
 徳島大学
 日立化成先端材料研究所
 三菱化学科学技術研究センター
 BASF コーティングス

<2008年>

運営委員長

大谷 肇

名古屋工業大学

副運営委員長

山本 清
 杉浦 元保
 川井 忠智
 松山 重倫

旭硝子
 豊田中央研究所
 工学院大学
 産総研

運営委員

右手 浩一
 海野 晶浩
 武居 尚英
 鶴見 浩一郎
 西本 右子
 内田 靖隆
 安田 純子
 木村 いくみ
 出口 義国
 末友 茂

徳島大学
 日立化成 先端材料研究所
 三菱化学科学技術研究センター
 BASF コーティングス
 神奈川大学
 電気化学工業
 コーセー
 日東分析センター
 カネカテクノリサーチ
 荒川化学工業

<2009年>

運営委員長

大谷 肇

名古屋工業大学

副運営委員長

山本 清
 西本 右子
 川井 忠智
 松山 重倫

旭硝子
 神奈川大学
 工学院大学
 産業技術総合研究所

運営委員

内田 靖隆
 安田 純子
 木村 いくみ
 出口 義国
 末友 茂
 堤内 要
 小澤 智行
 河合 次
 近藤 晃弘
 柏原 督弘

電気化学
 コーセー
 日東分析センター
 カネカテクノリサーチ
 荒川化学工業
 中部大学
 日産化学
 メニコン
 住化分析センター
 住友スリーエム

<2010年>

運営委員長

大関 博 旭化成

副運営委員長

大谷 肇 名古屋工業大学

香川 信之 東ソー分析センター

川井 忠智 工学院大学

松山 重倫 産業技術総合研究所

運営委員

川口 聖司 機械振興協会

佐藤 崇文

日本電子

穂坂 明彦

フロンティア・ラボ

宮田 一司

日立マクセル

百瀬 直子

ブリヂストン

堤内 要

中部大学

小澤 智行

日産化学

河合 哲次

メニコン

近藤 晃弘

住化分析センター

柏原 督弘

住友スリーエム

2. 学会事務局

田中 一二三

田中 久光 (現事務局)

【50周年記念誌 編集後記】

高分子分析研究懇談会設立50周年記念行事を振り返って

ほぼ10年前、40周年記念行事がつつがなく終了し、懇談会も新しい運営体制に移行したのを機に、それまで長く務めていた（幹事）委員を降りて、その後しばらくは一会員として懇談会に関わってきた。

この間、表向きはおとなしく身を潜めていたつもりであったが、そうこうしているうちに2008～2009年度の運営委員長に指名され、これまで何かとお世話になってきた懇談会に多少でも御恩返しさせていただくつもりでお引き受けすることにした。

その時点で、私の運営委員長としての退任時が懇談会設立50周年の節目にあたることは十分に自覚しており、この記念行事を具体化することが自分に課せられた大きな役目であろうと勝手に解釈し、腹をくくって取り組むことにした。

さらに、運営委員長退任後の本年度は、記念行事担当副運営委員長として、その作業に専念させていただいた。

具体化にあたっては、まず、以下の行事の実施を企画し、取り組むことにした。

1. 高分子分析国際会議の開催
2. 「分析化学」高分子分析特集号の編集・刊行
3. 50周年記念講演会・祝賀会の実施
4. 50周年記念誌の作成・発刊
5. 「高分子分析ハンドブック」の英訳

我ながら少々欲張り過ぎかとも思ったが、何はともあれまずは進めてみることにした。結果的には、運営委員及び各行事の担当委員各位の多大なご尽力と、会員諸氏の真摯なご協力など、多くの方々の支えのおかげで、いずれも想定以上の内容で実施することができた。

高分子分析国際会議では、私は一応実行委員長・組織委員長として旗振り役を務めさせていただいたが、実施にあたっては、長年培ってきた「高分子分析討論会」のマニュアルを最大限に活用しながら、実行委員・組織委員諸氏ならびに大関博運営委員長以下懇談会運営委員の皆さん、来賓としてご参加・ご挨拶いただいた中村洋分析化学会会長、および裏方としてご尽力いただいた事務局の田中久光氏など、多くの方々にそれぞれの立場から、大いに活躍していただいた。

過去の討論会の反省なども踏まえて、本番までに綿密な準備を重ねた結果、当日は拍子抜けするほどスムーズな運営と進行、期待通りの数の約100件の一般発表と300名を超える参加者、および海外からの招待講演を含めた多彩かつ充実した討論内容などから、まずは大成功であったといえるのではないかと考えている。

「分析化学」特集号には、編集小委員長として関与させていただいた。もちろん私一人だけで編集することは到底無理であり、西本右子・高橋かよりのご両名にも編集小委員として作業を分担していただいた。改めて感謝申し上げる。

論文募集にあたっては、企業会員が多くを占め、公学関係者の比率が低いという懇談会の構成から、果たして刊行に十分な投稿があるだろうか和一抹の不安はあったが、結果的には「総合論文」から「アプリケーションノート」まで、内容的にもバラエティに富んだ、計13編の論文が掲載される運びとなった。十分に胸を張れる特集号になったものと自負している。

記念講演会・祝賀会は、この記念誌の配布と時を同じくして実施されるので、これを執筆している時点では結果を確認するわけにはいかないが、50周年を祝うにふさわしい盛会になるものと確信している。なお、この記念誌については、項を改めてご説明したい。

最後の「ハンドブック英訳」については、英訳のキックオフを記念行事と位置付けて、調整を図ってきた。すでに運営委員会ではゴーサインが出ているが、実際の作業はこれからであり、また、常に財布の中身（予算）と相談しながら進めざるを得ないため、先行き不透明な部分はあるが、懇談会の実力を世界に発信するにはまたとない機会であり、是非実現させたいと考えている。

50周年記念誌について

この50周年記念誌は、2001年以降の活動記録を主体とした冊子と、「付録」のCD（内容的にはこちらが本体と云えなくもないが）で構成されている。

2000年の設立40周年までの活動記録は、長らく幹事委員長として懇談会を引っ張ってこられた高山森氏のご尽力により、その時点で「懇談会40年の歩み」と題した40周年記念誌として集大成されており、今回の2001年以降の活動記録と併せて全体を見渡せるようになっている。

なお、この「40周年記念誌」は、今回の活動記録とともにCDにそのまま収録されているので、是非ご覧いただきたい。

このほかCDには、「「ぶんせき」誌に見る活動記録」として、主として分析化学会会員誌「ぶんせき」に掲載されてきた、例会等の行事開催報告記事や、講習会や討論会の参加募集などの会告記事を収録した。

また、おおよそ2000年以降の行事に関しては、これらの記事を懇談会のホームページにも掲載して、広く一般に懇談会活動を公開することとしている。

こうした取り組みはすでに数年前から行ってきたが、今回の記念誌作成を機に、ホームページについても一層の充実を図ることにした。

また、今後の行事報告等もその都度追加していく予定である。

まだご覧になっていない方は、是非このホームページも一度覗いていただきたい。

一方、「写真集」については、基本的にデジタル写真からピックアップしたため、2001年以降の行事に関するものになってしまった。

とりあえず、手元にあったものから拾い上げたため、内容的にはかなり偏っていることは重々自覚しており、中には記念誌への掲載にふさわしい代表的な写真かどうか疑問が残るものもあるかもしれないが、ご容赦いただきたい。

今後も機会を捉えて、ホームページ等を利用しながら、活動記録にふさわしい「写真」を公開したいと考えており、会員の皆さんから積極的にご提供いただければ幸いである。

さらに、CDには、第10回以降、記憶に新しい国際会議を兼ねた第15回までの高分子分析討論会要旨集を収録した。

ご承知のように、第9回までの要旨集は、第10回討論会の開催を記念して既にCD化されているため、今回はそれ以降の収録とさせていただいた。

これらの要旨集は、著者索引等とリンクされており、検索しやすくなっているのです是非ご活用いただきたい。（上記の行事報告や写真集等も、一覧表からリンクできるようにまとめられているので、合わせて利用されたい）。

この記念誌の作成は、上述した主要な記念行事が終了あるいはほぼめどがたってから本格的に開始したため、実質的な作業期間は実はひと月にも満たないという、極めてあわただしい中

で、綱渡りで行ってきたものである。この短期間で曲がりなりにも完成にこぎつけることができたのもひとえに、年度末の極めて多忙な時期に、松山重倫・石田康行のお二方に、膨大な編集作業をこなしていただいたおかげである。最大限の謝意を表したい。

作成にあたっては、誤りや抜け落ちのないよう、できるだけ確認作業を行ってきたつもりであるが、いかんせん限られた人数での「突貫工事」であったことは否めない。情報の誤りその他問題点があれば、遠慮なくご指摘いただきたい。内容を確認した上で、ホームページ等を利用してできるだけ対処していきたいと考えている。

最後に、高分子分析研究懇談会ならびに会員諸氏の、今後のますますの発展とご活躍を祈念して、筆を置くことにしたい。

2011 年3 月吉日

2010 年度高分子分析研究懇談会
副運営委員長
(50 周年記念行事担当)

大谷 肇

(社)日本分析化学会 高分子分析研究懇談会

〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ
304 Tel 03-5487-2790 Fax 03-3490-3572